

新刊紹介

図書館に置いてある最新本の中から
おすすめのをピックアップ。
バラエティーに富んだ
新刊を紹介します。

町立指江図書館 / 電話 0996-88-6500



寂聴あおぞら説法 IV

瀬戸内 寂聴 著

目の前で講話を聞いているように、分かりやすく易しいようになっています。辛いときにこの本を読めば、きつと癒されるはずです。

町立鷹巣図書館 / 電話 0996-86-1111



でたあーっ わんつーばんつくん

ガモウひろし 著

あばれるわーどのみんが楽しみにしている「あばれるあっぱれ祭り」。みーぐる一ふのきばみーたちがジャマをしに来たのを見破ったばんつくんですが、ワナにはまって大ピンチ・・・。

長島文芸

明神俳句会

子等の机いまも二階に柿明かり
蓑虫や衣は手織の木綿糸
抱き上げし孫の重みやいわし雲
残菊や潤み大きく月の傘
生命線継ぎ足す技か柿熟す
鮮やかに色づく木々や秋深し

二階堂妙子 筑前 初市
山寄加代子 山崎加代子
迫口 君代 大堂 早苗
関 佳代美

長島短歌会

生前に今一度会ふ願ひをば叶へぬままに義兄は逝きたり
茜射す西海の空に雲わきて見へ隠れしつ夕陽は沈む
中山タマエ
浜田美代子

何もなき戦後といへど夢はみて楽しかりしよ今に思へば
篤姫の生まれしお屋敷訪ね来し大老松の茂る海辺に
山峡の朝の冬空澄み渡り窓に射す日はわれに優しき
遅まきの大根やうやく芽吹きいて競り合ふ如く日々に伸びおり
うち続く事件の文字の無き日なく今朝もまばらに新聞開く
木枯らしの朝の落葉はピカソの絵掃く手休めて暫し見とるる
黒雲の広がり来れば海よりの音なき雨が濡らして過ぐる
季節ごと多様な花の咲匂ふフェリー着場の潤ひており
晩秋の西陽かがよふ黒の瀬戸の満潮に立つ心ひろげて

浜畑 松枝 林 ヒロ 本田 幸子 町田キクエ 松元 睦子 吉田 映子 岩下 ち江 岩下 房代 賴子 榎平

一般の方の作品

俳句
廢船に鵜の佇みて寒落暉
嵯峨野里庵の塩の通草かな
軒低く蟹の家あり干大根

短歌

問近なる今年もくれる早い事良い事無きや明年待や
幕末に身を命をかけて江戸守る國士なるかや天璋院は
白神の緑ふかさに朴の花浮き立つ白は天使のごとし

雲垂るる山田の上を一文字杉生めかけて雉子飛ひたり
川添 行秋 笹元 政美 桐野 眞実 米尾 和子